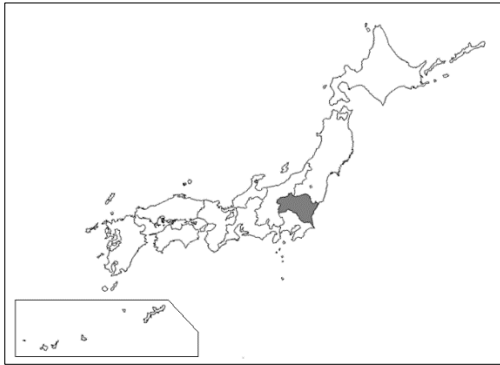


(3) 北 関 東



北関東地域では、景気は持ち直しの動きとなっているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費はこのところ持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等は緩やかに持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

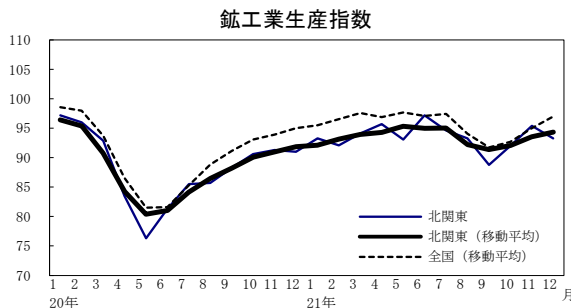
前回からの主要変更点

	前回 (令和3年12月)	今回 (令和4年3月)	
景況判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している	持ち直しの動きとなっているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる	→
鉱工業生産	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しの動きがみられる	↑
個人消費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	このところ持ち直しに足踏みがみられる	↓
雇用	感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さが増している	感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等は緩やかに持ち直している	↑

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。

10-12月期の鉱工業生産は、「輸送機械」が増加したこと、「汎・生産・業務用機械」が増加したこと等により、前期比1.4%増となった。



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。北関東の最新月は速報値。
 2. 全国及び北関東の太線は中心3か月移動平均。直近月は2か月平均。
 3. 北関東は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7-9 月期	10-12 月期	10月	11月	12月
石油・石炭、化学、プラスチック	20.1	▲3.2	0.9	▲1.4	2.4	1.3
輸送機械	18.3	▲10.3	9.3	25.3	22.7	▲7.2
汎・生産・業務用機械	17.1	▲2.5	3.0	6.6	▲2.8	▲3.1
食料品・たばこ	12.1	0.8	—	▲0.8	1.5	—
電子デバイス、電気・情報通信	11.2	▲6.6	▲1.6	1.6	0.0	▲2.0
鉱工業	100.0	▲3.3	1.4	3.6	3.7	▲2.2

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
 2. 10-12月期、12月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食料品・たばこは公表されていない。
 3. 業種は内閣府にて分類。

2. 個人消費の動向

個人消費はこのところ持ち直しに足踏みがみられる。

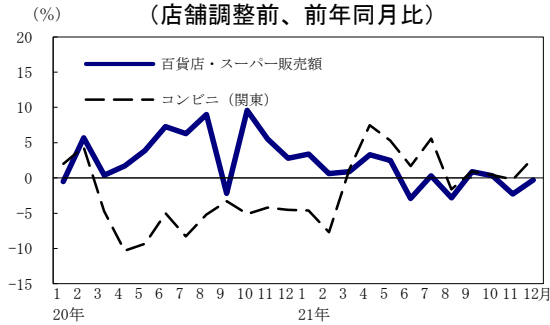
(1) 地域別消費総合指数（RDEI（消費））

10-12月期は前期比3.4%増となった。月別にみると、10月は前月比3.1%増、11月は同0.8%増、12月は同0.1%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、10-12月期は前年同期比0.7%減となった。月別にみると、10月は前年同月比0.3%増、11月は同2.3%減、12月は同0.3%減となった。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



	2021年10-12月	2021年10月	11月	12月
RDEI（消費*1）	3.4	3.1	0.8	▲0.1
百貨店・スーパー*2)	▲0.7	0.3	▲2.3	▲0.3
コンビニ*3)	1.1	0.4	▲0.2	2.9
乗用車*4)	▲18.0	▲34.0	▲11.5	▲7.0
(季節調整値) *4)	3.5	9.9	32.4	3.9

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

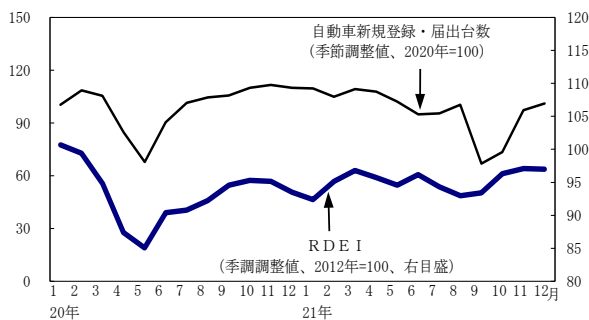
百貨店・スーパーは内閣府にて算出

3. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

コンビニは、経済産業省の関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡)の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%)

RDEI（消費）と自動車新規登録・届出台数の推移

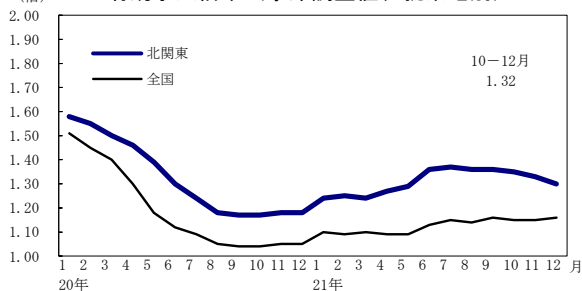


3. 雇用情勢

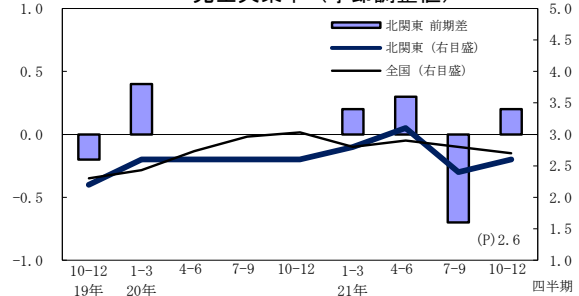
雇用情勢は感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等は緩やかに持ち直している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。

有効求人倍率（季節調整値、就業地別）



完全失業率（季節調整値）



(備考) 1. 内閣府にて算出、季節調整。季節性が認められなかったことから原数値と同じ。

2. 10-12月期の値は暫定値。

(13) 景気ウォッチャー調査 (令和4年1月調査) 景気判断理由の概要

3. 北関東

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

分野		判断	判断の理由	
現状	家計動向関連	□	・新型コロナウイルス感染拡大の報道の影響で、50代以上の常連客は、まん延防止等重点措置の適用前でも来店を控えているようだった。活気はなくなり、自然と客足は遠のく傾向である (一般レストラン [居酒屋])。	
		▲	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大の影響が大きく、せっかく盛り返してきた旅客の動きも減少に転じている。イベントの中止も徐々に発表されている (旅行代理店)。	
		×	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、店舗への来客数が減少している。さらに、まん延防止等重点措置対象地域となったことにより、来客数減少に拍車が掛かっている (百貨店)。	
	企業動向関連	□	・原材料価格上昇が大きく、価格改定を余儀なく進めている関係もあり、様子見状態である (化学工業)。	
		▲	・新型コロナウイルス感染拡大による定期業務の延期や従業員の感染による管理業務の減少により、売上が減少している。燃料費や資材価格の値上げによる経費増も続いており、減益額が拡大している (不動産業)。	
		×	・12月末に自動車関連の大幅減産情報が入り、ばん回計画が白紙となっている。既に作り込みを行っており、大量の仕掛在庫を抱え、対応に苦慮している (一般機械器具製造業)。	
	雇用関連	□	・新型コロナウイルスが更に感染拡大し、懸念材料が増えて見通しがつかなくなった様子がうかがえる (学校 [専門学校])。	
		○	・コンビニ等の販売員や、小売、生鮮食料品、青果等のスーパー等での求人が目立っている。年末年始に向けて募集が落ち着いている建設関連や製造業は稼働が止まっているので、動いているのは小売、販売等が多い。建築関連はひとまず落ち着いている状態で、堅調である (人材派遣会社)。	
		▲	・新型コロナウイルス感染拡大により、生産が減少し求人数も減少したため、やや悪くなっている (人材派遣会社)。	
	その他の特徴コメント			□：新生活用品の冷蔵庫、洗濯機等の白物家電やインテリアラック類の物量は前年並みに確保している。しかし、原油価格高騰により業務コストが増加しており、利益は薄くなっている (輸送業)。 ▲：新型コロナウイルスの感染が拡大してきたため、来客数が少なめである (家電量販店)。
	先行き	家計動向関連	□	・まん延防止等重点措置が適用され、外食店舗の一部休業や時間短縮の影響で、内食傾向の客単価上昇も期待される業種だが、解除後の反動や復興キャンペーンなどの影響も考慮すると変わらないのではないかと。また、食料品の値上げラッシュが家計を圧迫することもあり得る (スーパー)。
			▲	・新型コロナウイルスの感染状況で変化すると思うが、年度末に向かって受注残にはなっておらず、厳しい状況が続いている (乗用車販売店)。
企業動向関連		□	・新型コロナウイルスオミクロン株がこれからどうなるかが少し不透明なので、このまま変わらないような気がする (窯業・土石製品製造業)。	
		▲	・半導体やワイヤーハーネス等、部品不足による影響が様々な分野に広がりつつある。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、国内工場でも生産停止を余儀なくされる状況が出始めており、簡単には好転しない (一般機械器具製造業)。	
雇用関連		□	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響が出てくると予想されるため、現状のまま変わらない (職業安定所)。	
その他の特徴コメント			▲：新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が、今後どのように推移していくか、むしろ感染が増えるのではないかと心配している (コンビニ)。 ▲：新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、更に先行きが見通せず、公共事業発注のペースも遅く、この先が怖い (建設業)。	

(D I) 現状・先行き判断D I (北関東)の推移 (季節調整値)

